

1. 背景・目的

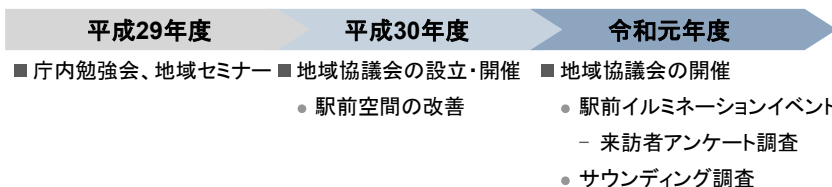
- JR大府駅周辺は駅の乗降客数が増加しているものの、商業施設等の撤退もあり、「駅周辺のにぎわいづくり」が課題となっている。
- 駅周辺のまちづくりを進めるにあたり、取り組むべき具体的な案件を絞り込むことや、担い手となる地元事業者を探すことを目的に、官民で協力して意見を出し合う場を作り、持続的ににぎわい創出に資する取り組みを検討・実施する。

2. 事業概要

- 大府駅周辺地区のにぎわいづくりに向け、市と地元事業者等と地域課題を共有し、実際の取り組みを通じた課題の整理や官民の役割分担の検討等を行う。
- その際、公共空間(公園、道路等)の効果的な使い方に着目する。

3. 地域プラットフォームの取組概要

本取り組みのフロー



① 庁内勉強会、地域セミナーの開催

PPP/PFI についてノウハウの習得を行うため、関係部署を対象とした庁内勉強会や、大府駅周辺の現状やPPP/PFI に関する地域セミナーを開催した。

② 地域協議会(大府駅周辺地域プラットフォーム)の設立・開催

大府市、地元事業者、金融機関、学識者による地域協議会を設立した。「駅周辺のにぎわいづくり」に向けた課題の整理や方向性の検討のため、官民での対話、地域住民(主に子育て世代の女性)を対象としたグループディスカッション、事例勉強会(マルシェ事業)等を行った。その上で、官民一体となって取り組むべき事業を整理して事業リストを作成した。

③ 駅前空間の改善

大府駅周辺の利便性を高めるため、地元事業者の意見を積極的に取り込みつつ、駅前広場の改修、駅の案内表示の改善、市循環バスの路線改正を行った。

④ 駅前イルミネーションイベントの開催と来訪者アンケートの実施

地元事業者と学生・若者を中心とした地域関係者が主体となり、市も協力の上、駅前広場や道路を利用したイルミネーションイベントを企画・開催した。その際、人々が駅前に求める機能を把握を行うため、イベント来訪者を対象としたアンケート調査を行った。

⑤ サウンディング調査の実施

民間活力導入の可能性のある駅前広場や公園について、ポテンシャルや課題を把握するため、民間事業者へのサウンディング調査を行った。

イルミネーションイベントの様子



4. 取組成果

- 駅周辺のまちづくりを進めるにあたり、官民一体となって取り組むべき事業を整理し、事業リストを作成した。
- その上で、優先的に実施すべき取り組みを抽出し、駅前イルミネーションイベントの企画・開催を行った。
- アンケート調査等の結果、にぎわいづくりのためには、駅前広場や公園を更に活用する必要があること、具体的な事業を実施する担い手が不足していること等の課題が明らかになった。

5. 今後の活動計画

(1) エリアマネジメント体制の構築

まちづくり会社や都市再生推進法人を念頭に、ハード整備だけでなく、イベントの開催等のソフト事業を進める主体を形成する。

(2) 民間活力導入方策の策定

市民意見の聴取や事業実施に向けた民間事業者へのサウンディング調査、イベント等の取組の継続を通じて、駅周辺や公園への民間活力導入方策を策定する。